



子どもたち一人一人が笑顔ですごす学校をめざして



子どもが失敗したときにどう声をかけますか？切さ

子どもが、頑張っって何かをやり遂げたとき「よく頑張ったね。」「あなたは、やればできる子だね。」と大いに褒めてあげることが大切です。子ども達は自分に自信をもってさらにながらんでいくでしょう。でも、いつもうまくいくことばかりではありません。時には失敗したり、うまくいかないときもあります。そんな時には子どもにどんな声掛けをしていけばよいのでしょうか。私は大きく分けて二通りの声掛けの仕方があると思います。一つは「がんばれ!」、そしてもう一つは「大丈夫だよ」です。この二つをどんなときに使い分けるとよいのでしょうか。

① 「がんばれ!」を使う時

これはもう少しで達成ができる見通しがあるときです。「今はきつけれど、もうひと頑張りしたらかならずうまくいく」と見取ったときには、子どもを励ましてやるのが大切です。精神的に踏ん張ればよいのか、または「こんなふうにはやればうまくいくよ。」と具体的に方法を示してやればよいのかはその時の状況によるでしょう。そして子ども達がやりとげることができたら、そこで一緒に喜んだり大いに褒めてあげたりしてください。「がんばれ!」

は「あなたはできる子だよ!」とペアで使う言葉だと思ひます。



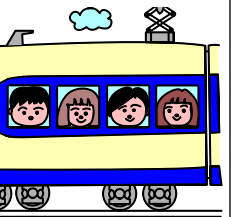
② 「大丈夫だよ」を使う時

㊤やりとげることが難しいと思われるとき、㊤子ども達の落ち込み方が激しいときには「がんばれ!」という言葉が重くなりすぎる時もあります。㊤いくら頑張っても達成できないことを繰り返していると、「どうせ僕にはできないんだ」と子どもの自己有用感低くなってしまいます。㊤また元気なときには乗り越えられることでも、心が弱っている時には乗り越えられないこともあります。そんな時には、「大丈夫だよ」「心配しなくていいよ」と声をかけてあげることで、子どもの心はほっとします。また子どもが少しがんばれば達成できるレベルに目標を設定して、それができたらその次にもう少しだけ高い目標を設定していくこと(スモールステップ)も大変有効な手立てです。

「がんばれ」か「大丈夫」か、どちらの声掛けがよいかは、子どもの様子や気持ちをよく見取っていくことが大切だと思ひます。

公共のマナーの大切さを感じました。

11月25日(水)6年生は小倉北区のソレイユホールで開かれた「心の劇場」に行ってきました。心の劇場は劇団四季が全国の小学校6年生を対象に行っている事業です。今までは校内行事とのスケジュール調整が合わないなどで行けなかったのですが、今年に行くことができ、本格的なミュージカル「むかしむかし象がきた」を楽しんでくることができました。子ども達は文化的なよい体験をさせていただいたと思ひます。私も一緒に行きましたが、劇の内容の他にも、行きがけのことで心に残ったことがありました。銀行の前を歩いて通りかかったときのことです。前に立っておられた二人の男の方が「この頃の小学生はよくあいさつをして、気持ちがいいね。」と話をされているのが耳に入りました。そしてJR折尾駅から西小倉駅まで電車に乗りました。立っている大人がいないこともあって、何人かの子ども達は座っていましたが、次の駅で大人の方が乗り込んでくると、さっと席を譲っていました。また、車内で大きな声で話すこともありませんでした。この頃の子ども達は公共交通機関を利用する経験が少なく、バスや電車の中では、うれしくてつつい騒がしくなってしまうことがあるのですが、本校の6年生のマナーのよさに感心しました。担任の先生、保護者の方の指導や子ども達の自覚のおかげだと思ひました。マナーとは自分さえよければよいという考えではなく、周りの人をよく見て人の気持ちを考えて行動することです。子ども達に公共のマナーが育っていることをとてもうれしく思ひました。あいにく雨模様で、昼食場所は西小倉小をお借りしました。「ありがとうございました。」とみんなで校門に一礼して帰りました。



寒くなってきました。持ち物や服装のお願いです。

寒くなつてきて登校時にポケットに手を突っ込んでいる子が増えています。ころんだ時に手が付けずに危険です。寒いときは**手袋**をするようにさせてください。また、**フード**をかぶると車の音が聞こえずに危ないことがあります。

カイロは、原則は子ども達にはなくてもよいと思ひます。が体調が悪いときなど必要と思われるときは、保護者の方が判断して持たせても結構です。ただ持ってもポケットから出して遊ぶなどしないように指導しています。

ネックウォーマー・マフラーなどは、登下校時は着用してもよいですが、校舎内や休み時間は着用しないように指導しています。(遊具で首に絡みつくなど危険なため)ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

